

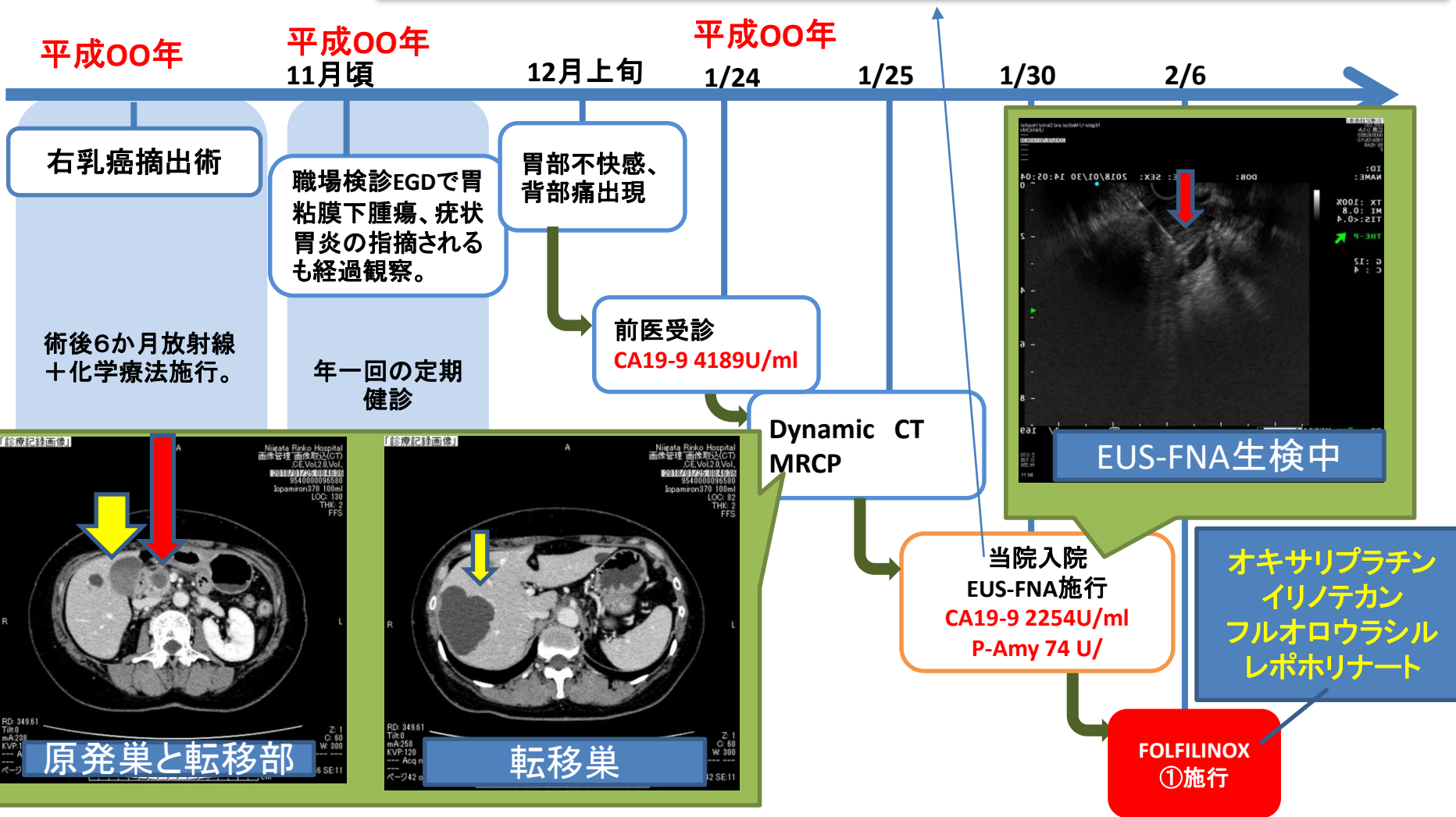
腭頭部癌多発肝転移 傍大動脈リンパ節転移の一例

3班12番 岸 諒太



現病歴 既往歴 治療介入

〇〇歳女性 膵頭部癌多発肝転移＋傍大動脈リンパ節転移





身体所見のまとめ

意識清明

リンパ節腫脹(-)

眼瞼結膜: 貧血(-)

眼球結膜: 黄染(-)

HR: 77/min, BP: 154/80
mmHg

Heart: 心音正常、no murmur

Lung: 呼吸音正常、no rale

心窩部痛なし
胸水貯留なし

肝: 触知しない
黄疸(-)、腹水(-)

**MRI: 腓頭部に2cm大の乏血性
腫瘍。**

**肝S4,S7と外側域にリング状に
造影される結節。**

**腹部大動脈周囲、肝十二指腸
のリンパ節腫大。**

腹部: 平坦、軟
圧痛(-)

腸蠕動音正常

血管雑音(-)

脾・腎触知しない

腫瘤触知しない

クモ状血管腫(-)

手掌紅斑(-)

下腿浮腫(-)

【入院時所見】

BT: 36.3°C, SpO2: 98%(room air)

下腿浮腫なし

【生活歴】

飲酒歴: ビール350ml/day × 38year

喫煙歴: なし

【家族歴】

祖母: 卵巣癌死

叔父: 脳卒中死

叔父: 脳卒中死

叔父: 胃癌死

母: 関節リウマチ

【既往歴】

H21年右乳癌opeあり。術後放射線化学療法。

輸血歴なし、刺青なし

【アレルギー】なし

【内服】なし

【血液検査】WBC 4410/ μ l, RBC 407 $\times 10^4$ / μ l, Hb
12.5 g/dl, Ht 37.9%. Plt 202 $\times 10^4$ / μ l, AST 19 U/l,
ALT 15 U/l, LD 171 U/l, γ -GTP 16 U/l, T-Amy 110
U/l, P-Amy 74 U/l, T-bil 0.7 mg/dl, l-bil 0.6 mg/dl,
CA19-9 2254U/ml



治療経過(臨床実習) 5年生のまとめ

EUS-FNAの細胞診:
Class V, Adenocarcinoma
由来Cancer cell

原発性膵癌
多発肝転移
Stage IV
(T2N1M1)

手術適用はない。
化学療法が選択される。

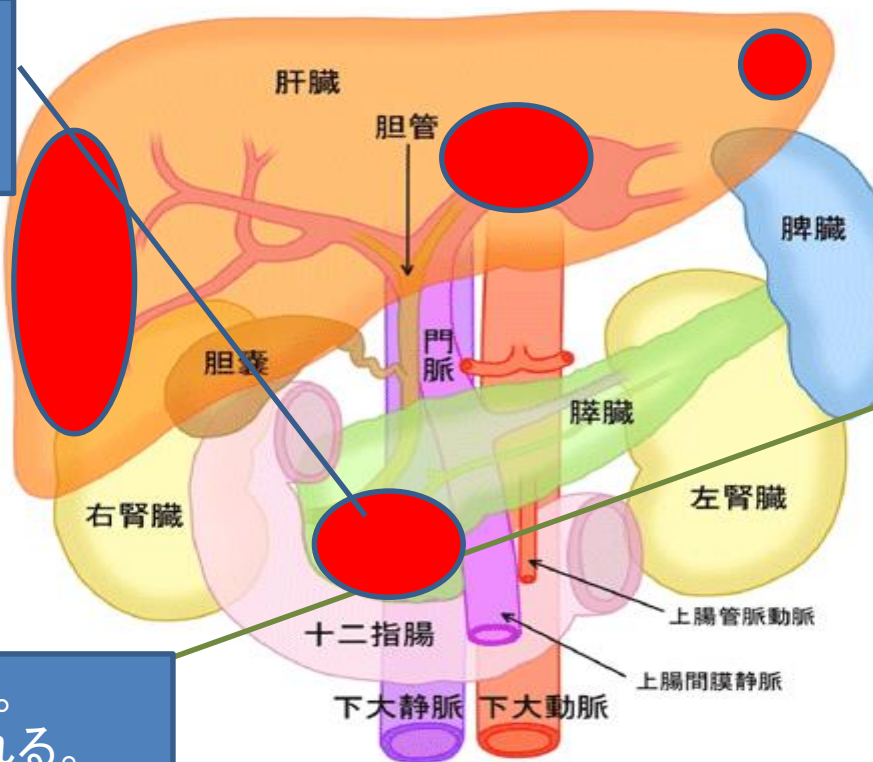
WBC(/ μ l) 4410(1/30), 2020(2/13)
RBC(万/ μ l) 407(1/30), 383(2/13)
PLT (万/ μ l) 202(1/30), 76(2/13)
UGT1A1(-)
黄疸なし

骨髓機能
の評価

肝機能の評価

下痢症状出現(2/6),
骨髓抑制出現(2/13)

患者の年齢と基礎疾患がないこと、全身状態
良好よりFOLFIRINOXが選択された。



Gemcitabine療法

代謝拮抗性抗悪性
腫瘍剤。シチジンと
同じ様にDNA鎖に
取り込まれアポー
シスを誘導する。

FOLFIRINOX療法
オキサリプラチン
イリノテカン
フルオロウラシル
レボホリナート

奏効率は高いが
多剤併用の為に
副作用が多い。